

令和6年度 第1回長崎学ネットワーク会議公開学習会

(主催 長崎学ネットワーク会議)

太平洋・インド洋への「陶磁の道」

講師：野上 建紀 氏 (長崎大学多文化社会学部教授)



大洋を渡った陶磁器の欠片たち。江戸時代、肥前磁器や中国磁器などの東洋陶磁器は、どのような経路でアジアを經由して大洋を渡り、中南米、そしてアフリカ大陸へと運ばれていったのか。陶磁器考古学の調査から、陶磁器貿易の姿と人と文化の交流を明らかにする。

【講師略歴】

北九州市生まれ。金沢大学文学部卒、同大学院修了。博士(文学)。有田町教育委員会主査(有田町歴史民俗資料館所属)を経て、2014年4月より長崎大学多文化社会学部。専門は歴史(中近世)考古学、陶磁考古学。主な研究テーマは窯業史、陶磁史、海上交易史など。主な著書は、『近世陶磁器貿易史-太平洋・インド洋への「陶磁の道」-』(勁草書房、2024年)、『陶磁考古学入門 : やきもののグローバル・ヒストリー』(勁草書房、2021年)、『伊万里焼の生産流通史 : 近世肥前磁器における考古学的研究』(中央公論美術出版、2017年)など。

令和6年5月23日(木)18:00~20:00

会場 長崎歴史文化博物館 1階ホール (定員120人、先着順)

入場料無料、要事前申込

電話(長崎市代表・あじさいコール:095-822-8888 ※会場参加分のみ)、
ファックス(長崎市長崎学研究所:095-818-8377 ※チラシ下部の申込事項)、
長崎市役所公式ホームページ(<https://www.city.nagasaki.lg.jp/>)から



【オンラインでも受講可(定員30人)】

参加御希望の方は、5月21日(火)までにお申込み下さい。(視聴に伴うデータ通信費用は参加者負担。お申込みはホームページが最もスムーズです)。5月22日(水)までに学習会用WEB会議室(マイクロソフト社 teams を利用)リンク先のアドレスを送信します。

申込事項	参加場所 [会場 ・ オンライン]	お名前(フリガナ)	
電話番号		メールアドレス(オンラインの方)	
年代		公開学習会を何で知ったか	